

第 22 卷 総 目 次

昭和 33 年度, 第 22 巻第 1 号～第 12 号

〔巻頭言〕

	号	頁
社会保障と公衆衛生……………曾田 長宗	1	1
「健康の疫学」について……………野辺地慶三	5	233
国民健康保険と公衆衛生		
特集について……………橋本 正己	9	457
保健所管理……………曾田 長宗	12	637

〔綜 説〕

〔特集〕 公衆衛生と社会保障

医療保障と公衆衛生との関連……………与謝野 光	1	2
児童福祉と衛生……………若松 栄一	1	5
老人福祉の諸問題……………加藤信太郎	1	11
更生指導 (Rehabilitation) の		
社会的必要性と運用……………稗田 正虎	1	15
生活館長の見た公衆衛生……………塚本 哲	1	19
病院と Health Center の地方組織化		
(Regionalization) について……………吉田 幸雄	1	23
セツルメント運動と公衆衛生……………芦沢 正見	1	29

疫学調査について……………乗木 秀夫	2	65
ポリオの病原体とワクチン……………竹森 信之	2	70
ポリオの臨床……………山田 尙達	2	76
航空医学の現状と将来……………大島 正光	2	99

〔特集〕 子供の衛生と人間形成

母子衛生に望むもの……………斎藤 文雄	3	117
母子衛生のあゆみ……………若松 栄一	3	120
新しい児童学の提唱……………竹内 薫兵	3	124
新産児衛生に望むもの……………八木日出雄・他	3	129
フランスに於ける母子保護……………山本高治郎	3	133
母子衛生を主とする地域組織に		
ついて……………広瀬 興	3	139
肢体不自由児の問題……………小池 文英	3	143
愛知県における身体障害児対策……………千種 杏三	3	147
市町村における母子衛生の動き……………浅野 一雄	3	154

〔特集〕 性病予防

アメリカの性病対策……………岡 英彦	4	173
日本に於ける性病対策とその将来……………田波 幸男	4	177
日本に於ける性病の実態……………山本 二郎	4	181
性病予防行政はどうあるべきか……………小原 菊夫	4	187
娼婦を中心とした性病の疫学と		
今後の対策……………園田 真人	4	190

〔特集〕 健康の疫学

概 論……………曾田 長宗	5	234
疫学の立場から……………重松 逸造	5	239
生理学の立場から……………田多井吉之介	5	247
年令的発育の立場から……………久保 秀史	5	254
保険医学の立場から……………一色 嗣武	5	256
臨床検査の立場から……………嶋谷 亮一	5	261

〔特集〕 ジフテリア予防接種

Gravis 型ジフテリアの疫学……………藤本伊三郎	6	289
百日咳・ジフテリアの混合		
ワクチンについて……………村田 良介	6	298
予防接種の時期と接種方法の		
諸問題……………金子 義徳	6	307
乳幼児のジフテリア予防接種, 殊に		
乳児早期接種に就いて……………中村 文彌	6	314
ジフテリア予防接種の改正……………浜崎 直哉	6	319

〔特集〕 耐性問題と公衆衛生

耐性問題と公衆衛生……………内山 圭梧	7	345
公衆衛生学的に見た耐性問題の		
重要性……………牛場大蔵・他	7	346
耐性問題の疫学的意義……………曾田 長宗	7	351
耐性の理論……………小酒井 望	7	357
赤痢耐性菌の分布状況……………小張 一峰	7	363
微生物の耐性問題の将来……………福見 秀雄	7	368
耐性菌発現の実例		
抗生物質耐性赤痢菌……………斎藤 誠	7	374
ブドウ球菌の薬剤耐性と		
ファージ型別……………土屋 俊夫	7	375
ブドウ球菌外科的領域……………羽島 俊郎	7	377
ブドウ球菌産婦人科領域……………松田 静治	7	378
大腸菌の耐性……………中西 良	7	379
溶血性連鎖球菌の各種抗生剤に		
対する感受性について……………三輪 敏彦	7	380
淋菌のペニシリン耐性……………篠田 倫三	7	381

〔特集〕 大阪の公衆衛生活動

大阪の公衆衛生小観		
保健所における予算態容と……………朝倉新太郎・他	8	401
配分上の諸問題……………奥山三四吉・他	8	414
大阪府の研修をめぐつて……………千尾 秀治	8	422
大阪市における保健所職員の		
研習活動について……………月橋 得郎	8	424
大阪市における食品衛生監視業務の		
研究とその行政効果について……………猫西 一也	8	425
医療機関と保健婦活動……………乾 死乃生	8	428

結核重点訪問……………東条 静子	8～429
大阪府医師会の公衆衛生活動……………古林 兆一	8～433
開業医の地域公衆衛生活動……………島崎 脩	8～434
医師会と保険所……………中山 信正	8～436
保健所と医療機関との連繫……………井田 直美	8～438
地区婦人組織を基盤とした公衆衛生 活動の発展過程について……………浜口 剛一	8～444
大阪における公衆衛生活動の問題点と 将来の動向……………庄司 光	8～448
〔特集〕 国民健康保険と公衆衛生	
国民健康保険最近の動向……………藤森 昭一	9～458
国民健康保険と公衆衛生……………西尾 雅七	9～464
国民健康保険と公衆衛生活動 について……………須川 豊	9～468
保健所と国保施設との関係……………春日 齊	9～473
国民健康保険の活動と公衆衛生……………守屋 清	9～477
川口市国保の活動と公衆衛生……………奈良健次郎	9～482
国保統計の利用……………松浦十四郎	9～489
国保と保健所……………朝倉新太郎	9～492
~~~~~	
新制保健所 10 年の回顧……………楠本 正康	10～513
厚生省 20 年の回顧と将来 一機構を中心として……………栗山 廉平	10～518
一公衆衛生を中心として……………山口 正義	10～523
公衆衛生院の思い出と将来……………斎藤 潔	10～527
学校保健法について……………塚田 治作	10～532
〃 〃……………重田 定正	10～536
地区衛生組織活動の沿革と動向……………橋本 正己	11～573
米国における地区組織活動……………宮坂 忠夫	11～581
中共の地区組織活動……………大鶴 正満	11～585
地区衛生組織の社会学的分析の 一事例……………柏熊 岬二	11～589
地区組織活動と技術……………鈴木 猛	12～637
パキスタンの地域社会開発事業……………橋本 道夫	12～642
英国における保健指導……………宇留野勝正	12～658
西ドイツの保健所……………額田 繁	12～662
ゴキブリの駆除対策……………井上 義郷	12～667

## 〔原 著〕

鉤虫の冬期集団駆虫による 感染予防の効果に就いて……………松林久吉・他	1～45
勝田市を中心とする職業別 鉤虫並びに蛔虫の汚染状況……………梅谷勇一・他	1～51
石灰窒素のレプトスピラに 対する作用(Ⅲ)……………山地幸雄・他	1～55
腐敗アミンと食中毒との関連に 関する一考察……………岩本多喜男・他	1～59
慶応病院の人間ドックに入院した人々の 寄生虫検査並に MGL	

法の検討……………間川迪典・他	2～105
ロート胸児に於ける 二、三の知見……………佐藤 千春	2～111
保健所における乳児指導の考察……………山下 章・他	3～161
新生児出血性疾患の予防に関する ビタミン K の妊婦集団投与 成績について……………小糸賢太郎・他	3～165
健康診断と保健所……………野尻 与市	3～169
九州、北海道等の炭鉱従業員寄生 虫相の研究(第 3 報)……………佐々 学・他	4～206
宮入員の生物学的研究……………菊池 滋	4～211
Ⅰ. 宮入員棲息地の地類と気候 Ⅱ. 宮入員棲息地及非棲息地の土壌形態と分析	
Piperazine 製剤による学校集団蛔虫 駆虫の効果について……………松本一男・他	4～223
1956～57 年冬期に分離された インフルエンザについて……………松山達夫・他	4～227
電話器消毒装置の効果……………松尾 晃	5～275
学童に見る蛔虫侵蝕 状況(其の 2)……………今村 隆・他	5～279
宮入員の生物学的研究(Ⅲ)……………菊池 滋	6～329
京都府南部の 2 農村に於ける 鉤虫の調査と集団駆虫……………中西 靖郎	6～337
山陽地区に於けるブユの調査成績……………岡本 詢	6～341
昨秋流行したインフルエンザの 或る農村地域人口集団に おける疫学的調査……………目黒勇平・他	7～383
公費申請肺結核患者のレ線所見及び 医療状況の推移について……………前田 健次	7～387
東京湾に於ける「ふん尿」 海洋投棄について……………坂野 薫・他	7～391
九州、北海道等の炭鉱従業員寄生虫相 の比較研究(第 4 報)……………佐々 学・他	7～395
栃木保健所管内に於ける鉤虫 感染について……………五月女謙一・他	7～398
地域集団の淋菌一日調査……………宮入正人・他	9～508
ヒドラジドによる有珪肺者における 結核予防に関する研究……………吉田寿三郎・他	10～539
集団生活における赤痢対策 の 1 例……………宮崎 貞雄	10～542
集団赤痢(細菌性)におけるストレプト マイシン集団内服の 効果とその検討……………古屋暁一・他	10～545
外航船舶乗組員及び船客の痘瘡 経過調査成績……………前田弘近・他	10～549
学校身体検査(耳鼻咽喉科領域) に対する 1 考察……………山口 恵	10～554
脳卒中についての公衆衛生学的 問題点……………佐々木直亮・他	10～556

## 九州、北海道等の炭鉱従業員寄生虫相

の比較研究(第5報)……………佐々 学・他 10~562  
作業環境の結核発病及び結核患者に

及ぼす影響に関する

研究(第2報)……………庄中 健吉 10~568  
宮入員の生物学的研究……………菊池 滋 11~599  
工場結核の様相……………玉井良男・他 11~604  
九州における鉤虫の分布に

ついて……………牟田口利幸 11~613

粉塵吸入実験に関する基礎問題(1)……………近藤 東郎 11~617  
青酸ガス燻蒸による船舶内の

ネズミ族駆除……………前田弘近・他 11~622  
東京都内のある市場に棲息するネズミに

についての調査研究……………福井 正信 11~626  
東京都下利島における蠅、蚊の

季節的消長に関する研究……………平川 達 11~630  
九州、北海道等の炭鉱従業員寄生

虫相の比較研究(第6報)……………佐々学・他 12~673  
海水浴場の細菌検査に対する

1 考察……………坂野薫・他 12~679  
教室内における学童の語音明瞭度

におよぼす騒音の影響……………芦沢正見・他 12~683  
ハイアミンによる含嗽効果……………木村 光雄 12~687

## 〔座談会・対談〕

公衆衛生と社会保障……………曾田長宗・他 1~33

Polio の疫学調査方法の検討……………山下 章・他 2~87

ジフテリアの予防接種を

めぐつて……………染谷四郎・他 6~320

大阪の公衆衛生を語る……………丸山 博・他 8~405

衛生から福祉へ聞く……………早崎 八州 12~648

衛生から社会教育へ聞く……………大志万準治 12~651

衛生から農業へ聞く……………矢口 光子 12~654

## 〔随 想〕

国民健康保険と保健所……………小宮山新一 9~146

厚生省創設 20 周年を迎え……………広瀬孝六郎 10~517

厚生省創設 20 年……………亀山 孝一 10~522

厚生省創設当時の思い出……………藤原九十郎 10~531

厚生省創設 20 年……………与謝野 光 10~544

## 〔書 評〕

佐々 学著『人体病害動物学』……………宮川 米次 2~98  
厚生省公衆衛生局防疫課編

「防疫必携」……………吉崎 正義 3~163

衛生公衆衛生学……………大平昌彦, 大石省三 12~647

## 〔問題点を訊く〕

ポリオ対策について……………宮入正人, 佐竹繁男 2~83

## 〔アンケート〕

売春禁止に際して公衆衛生関係者に望む

売春防止施行に際し

公衆衛生関係者に望むもの……………大野 幸 4~198

走春禁止に伴う性病対策について……………阿部 幸男 4~199

売春防止法と性病対策……………平賀 稔 4~201

売春禁止法その後の問題……………田村 一 4~201

現在に生きよう……………園田 真人 4~202

性病対策を確立せよ……………神崎 清 4~203

「健康の疫学」に寄せて

「健康の疫学」について……………橋本 正己 5~265

健康について……………春日 斉 5~266

所 感……………小島 三郎 5~268

「健康の疫学」をきく……………宮入 正人 5~268

「健康の疫学」について……………乗木 秀夫 5~269

健康の本質と小児……………斎藤 潔 5~271

重松氏に対する意見……………上田 撥一 5~272

健康学の提唱……………山本 幹夫 5~272

「健康の疫学」についての意見……………山下 章 5~273

「健康の疫学」について……………吉岡 博人 5~274

国保から保健所へのぞむこと……………川野一人・他 9~498

保健所から国保へのぞむこと……………立松宗一・他 9~499

## 第 22 巻 特集題名

公衆衛生と社会保障……………第 1 号

子供の衛生と人間形成……………第 3 号

性病予防……………第 4 号

健康の疫学……………第 5 号

ジフテリア予防接種……………第 6 号

耐性問題と公衆衛生……………第 7 号

大阪の公衆衛生活動……………第 8 号

国民健康保険と公衆衛生……………第 9 号